● 編集と発行 ● 社会福祉法人栗原市社会福祉協議会 〒987-2252 栗原市築館薬師三丁目6-2 TEL 0228-23-8070 FAX 0228-22-6012

栗原市社協だより

第63号
平成27年11月1日

主な内容

●大雨災害に伴う社協の対応
●ふれあい ささえ合い 笑顔がいっぱいの地域活動
●事業所からこんにちは
●高齢者生きがい活動支援通所事業紹介
●生活相談所日程
●ぼらぼら通信
●支部活動紹介
●市民の声
●防災まっぷ作成事業全体研修会報告
●ご寄附の紹介
●第３回社会福祉大会
●むすび丸ピンバッチ募金
●栗原市みみサポサロンのご案内
●みんな集おうダンス交流会
●福祉のひろば

支え合いに感謝!!

この広報誌は、みなさんの会費と共同募金配分金により発行しております

9月11日 関東・東北豪雨災害に伴う 栗原市社会福祉協議会の対応

東北初の「大雨特別警報」発表

9月10日(木)から11日(金)未明にかけて大雨により市内各地区に被害が発生しました。

被害を受けられた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

災害対策本部設置

発災当日、本会では職員を招集し、各事業所施設の確認、高齢者生きがい活動、放課後児童クラブの中止、介護保険事業所等の運営の確認、避難所開設状況確認とその役割確認、ボランティアセンター立ち上げについて協議いたしました。

13時30分、栗原市社会福祉協議会災害対策本部を設置し、被害状況の把握とともに、支援ニーズの調査に努め、災害ボランティアセンターは設置せず、栗原市ボランティアセンターで対応することに決定いたしました。

災害対策本部の様子

被災状況の調査

調査を進めていく中で、地区社協(行政区内)で自助、共助活動による協働があることから、改めて、日頃の地域福祉活動の大切さを感じました。

栗原市ボランティアセンターの活動

栗原市ボランティアセンターに登録いただいているボランティア並びに市内の協力申し出団体等にご協力いただき、ニーズ解決を行うことにいたしました。

支援の内容については、当初、居住であることとし、家財・畳の運びだし、拭き掃除等、発災当日からすぐに鶯沢地区へボランティア派遣を行いました。

その後、被災物の集積所までの運びだしと集積所での荷卸しや物置等の片付け等のニーズが寄せられ、協議した結果、一人暮らし・高齢者・女性世帯で支援が手薄な世帯を中心に派遣することにいたしました。

再ニーズ調査実施

発災より三週間が経過し、その後の状況把握のため、10月4日(日)～7日(水)にかけて、被害を受けられたお宅を訪問し、再ニーズ調査を行いました。

また、新たに「鶯沢支援グループ2番」という技術系のボランティア団体にも登録いただき、これまで社協では対応しなかった部分のニーズに対しご協力をいただきました。

再ニーズ調査実施に伴う打合せ会の様子

大雨の被害状況

○住家被害について

(広報くりはら10月号から)

・床上浸水　98棟

・床下浸水　249棟

活動内容と件数報告(10月16日現在)

・対応件数　48件

・ボランティア数　407名

10月31日をもって、被災等のボランティア派遣は終了いたします。

ご協力をいただいたボランティアの皆さんありがとうございました。

今後も相談は受け付けますので、ご相談下さい。

(地域福祉課　TEL 23-8087)

被災者の声 “ありがとう”を伝えたい

(築館沖富地区　菅原　清子)

「お父さん！　後片付が終わったよ」と、そう仏前に報告しました。

夫が逝ってまだ日も浅く、心の傷も癒えぬまま、9月11日、あの悪夢が私の住む集落を襲い大水害をもたらしました。前日まで関東地方のニュースにくぎ付けだった自分。まさか、と目を田んぼへ追いやると、泥水の海に変身、みるみる間に、二迫川の堤防が幅10メートルほど決壊し、それから床上、床下浸水の状況が耳に届いた。以前にも何回も被害を被ったけど、これ程までには至りませんでした。

もう二週間が過ぎた。私は一生懸命後片付けを手伝ってくれた栗原市ボランティアセンターのボランティアの方々にこの欄をお借りして“ありがとう”の心を届けたいと思い書きました。

水害で汚れた家財道具、衣類、畳等々、一人では何も出来ず途方に暮れていた矢先、“ボランティアさん”しかいないことに気づき、栗原市社会福祉協議会にお願いしました。一つ返事で連絡をいただき、9月13日、作業開始。「若い力っていいなぁ。一人より二人、数十人」と、気持ちよく片付く。言葉では言い尽くせぬ想いでした。本当に“ありがとう”を今、書けるまで元気になりました。

それから災害ゴミと化した数々の大切な財産処理に携わっていただいた方々へのお礼をもう一度、“ありがとう”の心を書いて、家の周り、それから集落もきれいに片付き、ゴミの無い元通りの家々になれた。環境が戻ったことにボランティアの方々、地域一丸となって部落をかけずり廻った区長さんはじめ多くの皆さんに“ありがとう”を言わせて下さい。

ふれあい　ささえ合い　笑顔　が　いっぱい　の地域活動

地区社協 活動紹介

築館北町地区社協（会長　戸田　恭子）

「お茶っこ会」

10月1日(木)に築館高齢者福祉センターを会場に「お茶っこ会」を開催しました。地区内高齢者の方々と役員を含め19名の参加でした。講師に「いちはさま紙芝居一座」の代表の高橋千賀子さんを迎え、紙芝居や軽体操、お口の体操など1時間にわたり、大きな声で笑ったり、歌ったりと大変有意義な時間を過ごしました。

高橋千賀子さんの軽妙な語り口に、参加者みんなが引き込まれました。

地区社協 活動紹介

志波姫里区地区社協（会長　山崎　チキヲ）

「お茶っこ会」

7月13日(月)、2回目のお茶っこ会を開催しました。

「ミュージックケア」聞き慣れない言葉ですが、音楽に合わせて軽体操から全身フル稼動の汗ばむ運動で、どれも必ず音楽に合わせて行います。

締め括りは、ホール狭しと広げられた布の端々を全員で掴み、その上を大小2個のボールがまるでダンスをしているように動き回ります。音楽は「白鳥の湖」。うっとり見てると端っこから転げ落ちるボール。落ちないように必死に布を上げたり下げたりも、腕の運動になります。汗を流した後のお茶っこの美味しいこと。楽しい一日を過ごしました。

「ほら～そっちさ行ったよ！」

地区社協 活動紹介

金成梨崎下沢辺地区社協（会長　菅原　隆志）

「手づくりの輪」

しあわせな地域づくり事業活動費助成を基に、地域の交流を活性させたいと活動を始めた「手づくりの輪」を紹介します。講座を開催するまでに、リーダー役の方が、各地の道の駅や様々な作品の催事場を回り得た知識を参考に、研修会開催にこぎつけました。

第1回目は、7月16日(木)にフクロウのペン立て製作。第2回目は、8月28日(金)にカゴの製作を行いました。

今後も多方面から知識を収集し、地域のコミュニケーション向上の為に事業を進めて行きたいです。

年度末には作品を持ち寄って、展示会を開き友好の輪が大きくなれば良いなあと、はりきっています。

楽しい活動ですよ！

作品の一例

地区社協 活動紹介

花山小豆畑地区社協（会長　菅原　一之）

「移動研修会」

2度の体験をした震災の思いを新たに、自分自身・家族と地域の防災を考える日にしたいとの思いより、南三陸町歌津へ移動研修を行いました。

歌津の髙橋才二郎様の震災の時の大変だった体験等のお話をいただきましたが、今復興が進んでいるのは、古くからの風習が受け継がれ、地域の相互秩助の仕組みが残っている隣近所のコミュニティがあったから。このお話に、これまで以上に地区内の連携と思いやりを大事にし、安心して暮らせる地域を作っていきたいと思いました。

「鎮魂の祈りを捧げてきました」

高齢者生きがい活動支援通所事業紹介

■高清水

高清水地区内を３つの会場に分け、月・水・金曜日に開所しております。現在の登録人数は、４０名。秋と言えば…スポーツの秋！玉入れゲームで盛り上がっています！いつも元気に和気あいあいと活動しています。

「今日もたくさん入ったよ！たのしかったね」

■栗駒

初めての陶芸に挑戦しました。なかなか思うように形が整わずに苦戦しながらも、個性豊かな世界で一つだけの作品に仕上がり満足の様子でした。

「素敵な陶器ができあがりました」

困りごと・心配ごとの相談は、生活相談所へ

たとえば　こんな相談！

- ◆暮らしや住まいに関すること……
- ◆家族に関すること……
- ◆福祉に関すること……　　等々

栗原市社協では生活相談所を開設し生活上の困りごと、心配ごとの相談を受け付けております。
相談は無料、内容は厳守いたしますので、お気軽にご相談下さい。

※栗原市内のどの相談所も利用可能です。※詳しくは、各支所へお問い合わせください。

相談所名	電話番号	開設日	開設時間	開設場所
築館生活相談所（築館支所）	23－8087	11/10(火)　11/24(火) 12/8(火)　12/22(火)	9:30～11:30	築館高齢者福祉センター（栗原市築館薬師三丁目6-2）
若柳生活相談所（若柳支所）	32－3083	11/10(火)　11/24(火) 12/8(火)　12/22(火)	9:30～11:30	若柳総合支所（栗原市若柳字川南戸の西4）
栗駒生活相談所（栗駒支所）	45－2150	11/12(木)　11/26(木) 12/10(木)　12/24(木)	9:30～11:30	栗駒老人憩いの家　シャクナゲ荘（栗原市栗駒岩ケ崎上小路136）
高清水生活相談所（高清水支所）	58－3637	11/9(月) 12/7(月)　12/21(月)	9:30～11:30	高清水ほっと館（栗原市高清水東館34）
一迫生活相談所（一迫支所）	52－4433	11/13(金)　11/27(金) 12/11(金)　12/25(金)	9:30～11:30	一迫高齢者生活福祉センター（栗原市一迫真坂字高橋20-1）
瀬峰生活相談所（瀬峰支所）	59－2322	11/12(木)　11/26(木) 12/10(木)　12/24(木)	9:30～11:30	瀬峰保健センター（栗原市瀬峰長者原37-2）
鶯沢生活相談所（鶯沢支所）	55－2834	11/11(水)　11/25(水) 12/9(水)	9:30～11:30	鶯沢老人福祉センター（栗原市鶯沢南郷下久保21-1）
金成生活相談所（金成支所）	42－1248	11/13(金)　11/27(金) 12/11(金)　12/25(金)	9:30～11:30	金成総合支所　やすらぎセンター（栗原市金成沢辺町沖200）
志波姫生活相談所（志波姫支所）	22－2713	11/11(水)　11/25(水) 12/9(水)	9:30～11:30	志波姫老人憩いの家　おもと荘（栗原市志波姫沼崎原83-1）
花山生活相談所（花山支所）	56－2028	11/9(月) 12/7(月)　12/21(月)	9:30～11:30	花山湖畔の里（栗原市花山字本沢百目木18-1）

事業所からこんにちは

芸術の秋・スポーツの秋…
デイサービスの秋！

一迫デイサービスセンター ☎52-4433

芸術の秋ですね。一迫デイサービスセンターでは毎月１～２回利用者様とリハビリを兼ねて書道教室を開催しております。玄関に作品を展示させていただいておりますので、どうぞ、ご覧いただければと思います。

毎日のレクリエーション・全身運動には工夫を凝らし、数多くのボランティアさんの訪問や季節の行事など毎日が楽しいイベント開催中です。

特にボランティアさんには民謡や踊り、昔なつかしい地元の民話の紙芝居など、地域の方とのふれあいの場としても、毎回、大変喜んでいただいています。

これからも、楽しんでいただける活動を計画していきたいと思います。

美人３名による作品。とても上手に書けました！

伊豆沼のはすまつり見学に行ってきました。

レクリエーションで身体を動かしますよー。

瀬峰デイサービスセンター ☎59-2322

９月23日～９月25日の３日間、敬老会を行いました。日替わりで、３団体のボランティアさんが唄や舞踊を披露してくださいました。利用者様も一緒に行えるリズム体操なども交えていただき、皆さん笑顔で参加していました。

これからも元気に過ごしていただけるよう楽しい行事を行っていきたいと思います。

1日目

瀬峰地区「花峰流」。キレのある踊りに、拍手喝采！

2日目

瀬峰地区「くれよん会」。得意のカラオケで利用者の皆さんをくぎ付けにしました。

3日目

「志波姫地区芸術文化協会」。唄と踊りでたっぷり楽しませていただきました。

介護保険等事業所名	電話番号	介護保険等事業所名	電話番号
築館居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	21-0225	栗原市一迫デイサービスセンター	52-4433
一迫居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	52-4433	栗原市瀬峰デイサービスセンター	59-2322
栗原市社協訪問介護事業所	21-2146	栗原市鶯沢デイサービスセンター	55-2874
栗原市社協居宅介護事業所		栗原市金成デイサービスセンター	42-1154
築館デイサービス「ふれあい」	23-8070	栗原市花山デイサービスセンター（湖畔の里）	56-2028
若柳デイサービス「ひだまりの家」	32-3032	生活介護事業所　はげましホーム	22-8111
栗原市高清水デイサービスセンター	58-3637	共同生活援助事業所　ふきのとう	22-0745

※いつでも見学や体験利用もできますのでお気軽にご相談ください。

ぼらぼら通信

栗原市ボランティアセンター

平成27年9月11日発生の関東・東北豪雨災害時の支援については、一人暮らし・高齢者・女性世帯で支援が手薄な世帯を対象に、栗原市ボランティアセンターに登録している団体等のご協力を頂きボランティア派遣を行いました。ご協力、ありがとうございました。

水にぬれた畳の運びだし

家財の運びだし

室内の拭き掃除

ご協力頂いた団体

- 栗原青年会議所
- 東北職業能力開発大学校
- くりこま自然学校
- 高清水ボランティア連絡協議会
- 瀬峰ボランティア連絡協議会
- 志波姫ボランティア連絡協議会
- 個人ボランティア
- 鶯沢支援グループ２番
- 東北福祉大学
- Azuma-re（あずまーれ）
- 築館ボランティア友の会
- 一迫ボランティア連絡協議会
- 鶯沢ボランティア友の会
- 花山ボランティア連絡協議会
- 栗原市社協職員親睦会

被災物の集積所までの運びだし

災害ボランティア活動

築館ボランティア友の会
会長　千葉　照子

ボランティアの要請があったのは、14日。一人暮らしのお宅へ出向き、玄関の前に立った瞬間息をのみました。入り口の廊下は、水を流したような水びたし、水気の含んだ衣類は重く、持ち上げようとすると段ボールの底は抜ける状態、箪笥も水を含み開かない状態。かつては、大勢の家族での生活が想像され、それぞれの年代の衣類や家財の数々を大切に保管整理されていただろう品々が、水を含み残すことは無理だろうと思っても、「奥さん、これどうしましょうか」と聞かざるを得ない私たち。その問いに一瞬ためらいの表情。「残して置けないっちゃね。捨てていいです。」の言葉に胸が痛みました。床上50㎝を超す水害の爪あと。自然の猛威の恐ろしさに畏敬の思いを抱いたのは私たちだけでしょうか。

市内では、他地区での被災も報じられており、被災された方々の一日も早く日常生活を取り戻されることへの願いを強くした支援ボランティアでした。

支部活動紹介

築館支部

★☆地域歳末支援事業「グラウンド・ゴルフ交流大会」☆★

10月6日（火）、グラウンド・ゴルフを通じて交流する機会を設け、地域課題の共有と地区社協活動の充実を図ることを目的に、地域歳末支援事業「グラウンド・ゴルフ交流会」を築館総合運動公園野球場を会場に開催しました。当初７月23日に予定されていた事業を雨天の為延期した事業です。

当日は晴天に恵まれ、22地区から選手等約180名の参加をいただきました。結果は、八幡町地区が第１位。また、５位までの表彰とホールインワン賞７名の表彰もあり、おおいに盛り上がった大会となりました。

Ａコート・Ｂコート、６ホールでの熱戦！

八幡町地区の皆さん、おめでとうございます。

若柳支部

★☆★☆「第３回わかやなぎ福祉のつどい」☆★☆★

10月４日（日）、たくさんの出会いと交流、つながりを深める場になることを目的に、第３回「わかやなぎ福祉のつどい」を若柳公民館で開催しました。

第１部は、若柳小・中学生、迫桜高校生による未来を担う子ども達の発表に参加者が真剣に耳を傾けました。

第２部のふれあいコーナーは、若柳よしの幼稚園のダンスで元気にスタート。特に若柳では「地域で取り組む介護予防推進事業」を通年に渡り実施し、「ロコモ予防」に取組んでいます。今回、地域総出で健康長寿NO1を目指すことをあらためて宣言致しました。

「ロコモ体操」を参加者総動員で！

栗原中央病院の副病院長　石田健司先生の指導を受け、ロコモ度を判定

花山支部

★☆★☆花山支部・地区社協合同研修会☆★☆★

９月９日（水）、栗原市社協花山支所において、平成27年度栗原市社協花山支部・地区社協合同研修会を開催しました。

第１部の研修会では、栗原市社会福祉課　自立相談支援員佐々木健悦氏より、今年度から始まった自立相談について、栗原市の状況をわかりやすくお話しいただきました。

第２部は、ボランティアグループ民謡うぐいす会の皆さんの歌と踊り、そして、お茶っこ会でできそうなスコップ三味線についてご指導いただきました。

今後の地区社協事業に大変役立てられる研修会でした。

「生活困窮者自立支援法制度概要」について、お話しいただきました。

民謡うぐいす会の皆さんの歌と踊り

お知らせ情報コーナー

市民の声

高齢社会で高まる「社協への期待」

瀬峰下田地区
社会福祉協議会会長
後藤 哲弘

今年は昭和から90年、戦後70年、栗原市が誕生して10年と節目の年を迎え、80歳以上の高齢者の方が全国で初めて1千万人を越し、私も含め団塊世代と呼ばれる方が全て65歳以上の仲間入りをしました。

栗原市は人口減少に歯止めが掛からず、急速な少子化が進むと共に高齢化率が34％を越え、益々地域福祉への需要が高まり、それを支える社会福祉協議会への期待はより一層強まるものと思います。

私も栗原市瀬峰地区社協支部委員・下田地区社協会長として、地域の民生委員や役員さん方の協力を得ながら地域福祉を支えて、8年が経過しました。

平成20年6月14日発生の岩手・宮城内陸地震、平成23年3月11日の東日本大震災、今年9月11日深夜から12日早朝にかけての豪雨災害と3大災害を体験する中で、防災マップの必要性を痛感し、地域の一人暮らしの高齢者の方や弱者の子供たちを災害からどう守っていくべきかが最大の課題だと感じております。

社協の理念である「共に支え、共に助け合い、共に生きる地域の創造」を目指してこれからも努力していきたいと思っています。

防災まっぷ作成事業

後期全体研修会　開催！

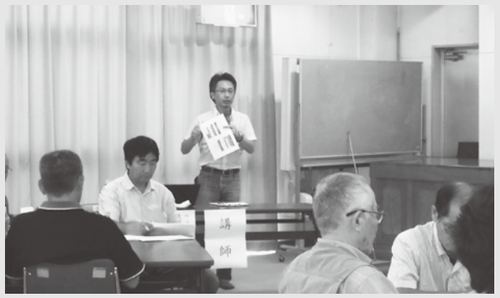
8月25日(火)、築館高齢者福祉センターを会場に全体研修会を開催しました。前期は9行政区に防災まっぷ作成に取り組んで頂き、後期は6行政区が作成を予定しています。

今回の全体研修会には、ウェザーハート災害福祉事務所 代表の千川原公彦（ちがはらきみひこ）氏を講師に招き、10月～11月下旬までに作成を行う6行政区18名の方々に参加頂きました。

研修会では、防災まっぷの必要性についての講話や仮想まっぷを使って災害時の対応を皆で意見を出し合いながら考えるワークショップを行うなど、真剣に取り組んでいました。

後期実施行政区

- 築　館　根岸行政区
- 栗　駒　清水田行政区
- 一　迫　高橋下行政区
- 一　迫　姫松南沢行政区
- 金　成　大原木行政区
- 志波姫　北行政区



講師　千川原 公彦 氏

全体研修会の様子

ご寄附の紹介　温かい善意 ありがとうございました

「地域の社会福祉のために役立てて下さい」と心温まるご寄附、ご寄贈いただきました。

◆寄附金（8月11日から10月10日までの受付順）

千　種　正　幸 様（築館）	1,954円
千　種　正　幸 様（築館）	2,179円

◆寄贈物品（皆さんに喜んでいただけるような活用をさせていただきます）

伊　藤　ミキ子 様（築館）	風　景　画
佐々木　雪　子 様（金成）	ポーチセット
匿　　名 様（若柳）	湯　の　み
㈱大塚製薬工場 ＯＳ－１事業部 様（仙台市）	清涼飲料水
鈴木工業 鈴　木　繁　行 様（若柳）	綿菓子製造機
湯浅町社会福祉協議会 様（和歌山県湯浅町）	缶ジュース
明治安田生命 登米営業所 様（登米市）	タ　オ　ル
草　刈　昭　夫 様（志波姫）	新　　米
千　葉　　稔 様（瀬峰）	昔の遊び道具一式
ヘアーステーションギャザー 仲　　間 様（大阪市）	タ　オ　ル
佐　藤　由宇子 様（京都市）	タ　オ　ル

被災地の子どもたちに遊具を贈ろう!!
むすび丸ピンバッチ募金

第3弾!!

応援価格 ５００円

震災により、沿岸地域では子どもたちの遊びの場が減少しました。

「子どもたちが安心・安全に遊べる場所がほしい」という子どもたちと地域の声に応え、被災地の子どもたちに「笑顔」と「元気な声」を届けようと「むすび丸」とコラボして、ピンバッチを制作しました。被災地での遊び場（遊具）整備に活用します。

問い合せ先：栗原市共同募金委員会
電話：23-8087
※栗原市社会福祉協議会各支所でも取り扱いしています

社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会
合併10周年記念事業・式典
第３回社会福祉大会

平成17年4月1日、栗原地域10町村の社会福祉協議会が合併し、「社会福祉法人栗原市社会福祉協議会」が誕生し10周年を迎えました。

本大会は、関係者が一堂に会し、連携協働しながら「地域の福祉力」を高めていくため開催するものです。

あわせて、永年にわたり栗原市の社会福祉の発展にご尽力いただいた方々を表彰し、感謝の意を表すものです

■日時　**平成27年12月19日(土)**
午後1時 開会
■会場　**栗原文化会館 大ホール**
■内容
- ○表彰　福祉功労関係者
  福祉活動に関する標語・ポスター・書道
- ○講演
- ○展示　福祉活動に関する標語・ポスター・書道

栗原市みみサポサロンのご案内

２回目　**日時：平成27年11月26日(木)　会場：栗原市若柳総合支所 201会議室**

◇10：30～12：00 「松ぼっくりを作ろう」
クリスマス気分を盛り上げる、かわいい「松ぼっくりツリー」を作りませんか。

◇13：00～14：30
「参加者交流サロン、個別相談コーナー」
ちょっと一息、気軽におしゃべりをしませんか。
個別の相談にも応じます。

○問い合わせ先○　宮城県聴覚障害者福祉センター（みみサポみやぎ）
電話：022（393）5501　FAX：022（393）5502

栗原市社協だより 第63号 平成27年11月1日発行

♪「みんな集おうダンス交流会」♪

［日　時］ **平成27年11月25日(水)**
11：30 開場・受付、昼食　13：00 開会、ダンススタート！　14：30 閉会予定

［会　場］ **栗原市若柳総合文化センター ドリーム・パル**(栗原市若柳字川北古川83番地)

［参加費］ **300円**(昼食一部負担金となります)

みんなから人気の楽しい音楽にのせて、好きな場所で好きなように踊りながら(ディスコのようなイメージ)楽しみませんか？障がいのある方々・ご家族・栗原市民の方々どなたでも参加でき、メイク・衣装・ドリンクコーナー等も用意しております。互いに知り合うことで、支え合えるきっかけ作りを目的とする。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

申し込み 問い合わせ先…
栗原市社会福祉協議会 地域福祉課
担当　佐藤(一)・佐々木(佳)まで　♪TEL 23−8087

福祉のひろば

このコーナーでは、福祉教育の取り組みをお伝えします。

防災・減災運動会

高清水小学校

高清水小学校の５年生が学年ＰＴＡ行事で「防災・減災運動会」を行いました。社会福祉協議会と東北福祉大学の協力のもと、東日本大震災の経験から「防災・減災」についての知識を、運動やゲームを通して楽しく学びました。

始めに、狭い空間に長時間同じ体勢で居ることによって起こる「エコノミークラス症候群」を改善する「さんあい体操」を行いました。手足のちょっとした動きだけでも血液の流れが改善されることが分かりました。

次に「防災・減災○×クイズ」を行いました。一日に人間一人が使う水の量や、火災の際の具体的な行動について改めて知ることが多かったです。

最後は、参加した児童と保護者とがペアになった「災害時借り物競走」です。児童が紙に書いてある指令をもとに、災害時に必要な物を避難バッグに詰めて、視覚障害者の手を引いてゴールを目指すものです。視覚障害者の方のサポートを念頭にしたものでしたが、児童も保護者もアイマスクを付けての走りは難しかったそうです。とても白熱した競争でした。

この活動を通して、児童から「今後起こるかもしれない災害のときに役立てたい。」という意見や、保護者から「日常では何気ないことでも、災害時はパニックになってできなかったことが多かったので、今日学んだことを活かしたい。」と意見が多く出ました。

震災を風化させないためにも、とても有意義な行事でした。また、「防災・減災」について、親子で考えることができました。

編集後記

９月１１日大雨被害を受けられた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

被害の現場を訪問させていただき、各地域で自助・共助活動で対応しており、日頃からの支え合い助け合い活動の中で地域がつながっていると感じました。

平成２０年、２３年の大地震、そして今回の水害と、３度の災害を体験し、いつ起こるかわからない災害時に備え、今後より一層地区社協の充実に努めて行きたいと思いました。（細川）

■編集と発行　社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会
〒987−2252 栗原市築館薬師三丁目6−2
TEL 0228−23−8070 FAX 0228−22−6012

ホームページアドレス **http://kurihara-sfk.jp/**
←モバイル版はこちら!!
バーコードリーダーで読み取り。モバイルサイトにアクセス！

社協本所・支所電話番号

本所・総務課	☎23-8070(代表)	高清水支所	☎58-3637
本所・地域福祉課	☎23-8087(直通)	一迫支所	☎52-4433
本所・介護保険課	☎21-2141(直通)	瀬峰支所	☎59-2322
築館支所	☎23-8087	鶯沢支所	☎55-2834
若柳支所	☎32-3083	金成支所	☎42-1248
栗駒支所	☎45-2150	志波姫支所	☎22-2713
		花山支所	☎56-2028